厚生労働科学特別研究事業「我が国の歯科口腔保健の実態把握を継続的・安定的に実施する手法の開発のための調査研究」（22CA2030）との比較分析

研究分担者 石塚洋一 東京歯科大学 衛生学講座 准教授
研究分担者 三浦宏子 北海道医療大学歯学部 教授
研究分担者 大島克郎 日本歯科大学東京短期大学 教授
研究代表者 福田英輝 国立保健医療科学院 統括研究官

研究要旨

【目的】 本研究は、当該研究事業で全国の歯科診療所において令和4年歯科疾患実態調査と同様の調査項目を用いた調査との結果を比較することにより、歯科診療所等の協力を得た歯科疾患実態調査の実施可能性を検討することを目的とした。

【方法】 歯科診療所調査（厚生労働科学特別研究事業「我が国の歯科口腔保健の実態把握を継続的・安定的に実施する手法の開発のための調査研究」）の20歳以上84歳までの患者5,750名を対象とした。解析項目は、歯科疾患実態調査に準拠した調査票から得られた、う歯を持つ者の割合、喪失歯所有者率、20本以上の歯を有する者の割合、歯肉出血を有する者の割合、歯周ポケットを有する者の割合、歯や口の状態、歯や口の清掃状況、歯科検診を受診している者の割合、矯正歯科治療の経験の有無とした。歯科疾患実態調査の結果は「政府統計の総合窓口」で提供されている「令和4年歯科疾患実態調査」のデータを用いた。本調査では、歯科診療所調査と歯科疾患実態調査の2群に分けて比較検討した。

【結果】 歯科疾患実態調査と比較して歯科診療所調査で高かったものは、う歯のある者（処置完了の者を含む）の総数の割合、う歯の処置完了の者の割合、歯肉出血を有する者の割合、4mm以上の歯周ポケットを持つ者の割合、4mm以上6mm未満の歯周ポケットを持つ者の割合、6mm以上の歯周ポケットを持つ者の割合、歯や口の状態について気になるところがあると回答した者の割合、歯の症状で、「痛い」と回答した者の割合、「冷たいものや熱いものがしみる」と回答した者の割合、歯ぐきの症状で、「痛い」と回答した者の割合、「腫れている」と回答した者の割合、「歯をみがくと血が出る」と回答した者の割合、「口臭がある」と回答した者の割合、デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯の間を清掃している者の割合、歯科検診を受診している者の割合であった。一方、歯科疾患実態調査と比較して歯科診療所調査で低かったものは、未処置のう歯を持つ者の割合、喪失歯所有者率、歯ブラシを用いた歯みがきに加えて歯や口の清掃を行っていない者であった。歯科診療所調査と歯科疾患実態調査で同様の傾向を示したものは、口の機能で、「噛めないものがある」と回答した者の割合、「口がかわく」と回答した者の割合、舌を清掃している者の割合、矯正歯科治療の経験がある者の割合であった。

【結論】 パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止となった場合にも実施可能な調査手法として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法から、ある一定の精度で歯科疾患実態調査を補完するデータを取得できることが示唆された。しかしながら、歯科診療所データを利用する場合は、対象者が一般の生活者ではなく、歯科診療所を受診した（している）患者であるという特性を考慮する必要がある。

A. 研究目的

歯科疾患実態調査は、昭和 32 年から始まり、令和 4 年には第 12 回調査が実施された。当該調査の結果は、わが国の歯科保健の現状把握に用いられるとともに、今後の歯科保健対策の推進に向けた基礎的資料として広く活用されている。

歯科疾患実態調査の被調査者は、全国から無作為抽出されるため、国民の代表値であると考えられている。そのため、当該調査の結果は、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」および「国民健康づくり運動プラン」における現状値の設定、および中間・最終評価時において参照される。しかしながら、第 12 回調査は、新型コロナウイルス感染症流行のため中止・延期となり、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」および「健康日本 21（第二次）」の最終評価として参照できず、E 評価（評価困難）となる項目が発生した。

本研究は、当該研究事業で全国の歯科診療所において令和 4 年歯科疾患実態調査と同様の調査項目を用いた調査との結果を比較することにより、歯科診療所等の協力を得た歯科疾患実態調査の実施可能性を検討することを目的とした。

B. 研究方法

2022 年 11 月 16 日から 11 月 30 日の期間に、全国の 8 都道府県（北海道・岩手県・東京都・岐阜県・京都府・広島県・高知県・長崎県）の県庁所在地とそれ以外の地域（人口が概ね 3,000 人～10,000 人の地域）の歯科診療所で実施した歯科診療所調査（厚生労働科学特別研究事業「我が国の歯科口腔保健の実態把握を継続的・安定的に実施する手法の開発のための調査研究」（22CA2030）¹⁾）の 20 歳以上 84 歳までの患者 5,750 名を対象者とした。解析項目は、歯科疾患実態調査に準拠した調査票から得られた、う歯を持つ者の割合、喪失歯所有者率、20 本以上の歯を有する者の割合、歯肉出血を有する者の割合、歯周ポケットを有する者の割合、歯や口の状態、歯や口の清掃状況、歯科検診を受診している者の割合、矯正歯科治療の経験の有無とした。歯科疾患実態調査の結果は「政府統計の総合窓口（e-Stat）」で提供されている「令和 4 年歯科疾患実態調査」²⁾ のデータを用いた。本調査では、歯科診療所調査と歯科疾患実態調査の 2 群に分けて比較検討した。統計学的解析方法は、カイ 2 乗検定またはフィッシャーの正確確率検定を用いた。統計学的有意差は危険率 5%未満のものとした。本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号 1137）。

C. 研究結果

1. う歯を持つ者の割合

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、永久歯のう歯のある者の総数の割合は35～39、75～79、80～84の年齢階級で高く、処置完了の者の割合は65～69、70～74、75～79、80～84の年齢階級で高かった。処置歯または未処置歯のう歯を持つ者の割合は70～74、80～84の年齢階級で低く、未処置のう歯を持つ者の割合は30～34、55～59、65～69、75～79の年齢階級で低かった（表1）。

表1. う歯を持つ者の数及び割合（永久歯：20歳以上85歳未満）

年齢階級 (歳)	人数(人)		割合(%)														
	被調査者数		う歯のない者			総数			う歯のある者								
	診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	処置完了の者			処置歯・未処置歯 を併用する者			未処置の者		
	診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5735	1943	3.7	5.8	*	96.3	94.2	*	65.4	63.4		29.6	29.0		1.2	1.9	*
20～24	306	52	20.9	28.8		79.1	71.2		42.5	40.4		32.7	23.1		3.9	7.7	
25～29	359	38	8.9	15.8		91.1	84.2		49.9	55.3		36.2	26.3		5.0	2.6	
30～34	328	75	5.8	8.0		94.2	92.0		53.4	44.0		38.7	38.7		2.1	9.3	*
35～39	421	83	2.9	7.2	*	96.4	92.8	*	59.1	66.3		35.4	25.3		1.9	1.2	
40～44	342	116	0.9	2.6		99.1	97.4		61.1	69.0		37.1	27.6		0.9	0.9	
45～49	492	145	1.2	0.7		98.8	99.3		64.6	71.7		33.5	27.6		0.6	-	
50～54	470	155	-	1.3		100.0	98.7		68.7	65.8		30.9	32.9		0.4	-	
55～59	437	137	0.5	0.7		99.5	99.3		69.1	67.2		30.2	29.2		0.2	2.9	*
60～64	433	177	1.6	1.7		98.4	98.3		73.0	76.8		24.9	20.9		0.5	0.6	
65～69	474	220	1.9	0.9		98.1	99.1		75.9	68.6	*	21.9	28.2		0.2	2.3	*
70～74	521	305	2.7	5.2		97.3	94.8		75.2	65.6	*	21.5	28.2	*	0.6	1.0	
75～79	453	258	3.5	9.7	*	96.5	90.3	*	67.8	55.4	*	28.7	32.6		-	2.3	*
80～84	699	182	3.9	14.3	*	96.1	85.7	*	70.2	51.1	*	24.3	32.4	*	1.6	2.2	

* p<0.05

2. 喪失歯所有者率

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、永久歯の喪失歯を有する者の割合（喪失歯所有者率）は25～34、35～44、45～54、55～64の年齢階級で低かった（表2）。

表2. 喪失歯所有者率（永久歯：25歳以上75歳未満）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		喪失歯を持つ者 割合(%)		
	診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value
総数	4277	1451	38.4	56.0	*
25～34	687	113	3.3	15.0	*
35～44	763	199	15.5	23.6	*
45～54	962	300	22.8	40.0	*
55～64	870	314	54.1	63.7	*
65～74	995	525	81.4	81.5	

* p<0.05

3. 20 本以上の歯を有する者の割合

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、20 本以上の歯を有する者の割合は、50～54、70～74 の年齢階級で低く、80～84 の年齢階級で高かった（表 3）。

表 3. 20 本以上の歯を有する者の割合

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		割合 (%)								
			総数			男			女		
	診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
45～49	495	145	97.2	97.9		96.0	98.4		98.0	97.6	
50～54	471	155	95.1	95.5	*	94.3	93.8		95.7	96.7	
55～59	438	137	91.1	94.9		89.9	96.1		92.1	94.2	
60～64	434	177	84.1	89.3		79.4	83.1		87.8	94.7	
65～69	476	220	74.8	81.4		71.7	81.2		77.1	81.5	
70～74	522	305	64.0	72.1	*	61.6	69.9		65.7	74.0	
75～79	453	258	59.6	55.8		56.9	53.7		61.9	57.8	
80～84	699	182	54.5	45.6	*	56.5	45.5		53.1	45.7	

* p<0.05

4. 歯肉出血を有する者の割合

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、歯肉出血を有する者の割合は 25～29、30～34、35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、65～69、70～74、75～79、80～84 の年齢階級で高かった（表 4）。

表 4. 歯肉出血を有する者の割合、年齢階級別（20 歳以上 85 歳未満）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		割合 (%)								
			なし			あり			対象歯の ない者		
	診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5729	1943	33.4	49.9	*	64.7	44.9	*	2.0	5.1	
20～24	309	52	48.5	57.7		51.5	42.3		-	-	
25～29	361	38	36.3	52.6	*	63.7	47.4	*	-	-	
30～34	328	75	33.8	49.3	*	66.2	50.7	*	-	-	
35～39	425	83	33.9	62.7	*	66.1	37.3	*	-	-	
40～44	342	116	33.3	48.3	*	66.4	51.7	*	0.3	-	
45～49	493	145	33.5	48.3	*	66.5	51.7	*	-	-	
50～54	470	155	34.7	53.5	*	65.3	45.2	*	-	1.3	
55～59	439	137	28.9	48.9	*	70.4	51.1	*	0.7	-	
60～64	432	177	28.9	58.2	*	68.8	39.0	*	2.3	2.8	
65～69	469	220	34.8	53.2	*	63.3	45.0	*	1.9	1.8	
70～74	519	305	31.8	48.5	*	64.4	44.3	*	3.9	7.2	
75～79	447	258	32.4	40.3	*	63.3	46.9	*	4.3	12.8	*
80～84	695	182	30.2	45.6	*	62.6	35.7	*	7.2	18.7	*

* p<0.05

5. 歯周ポケットを有する者の割合

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、4mm以上の歯周ポケットを持つ者の割合は20～24、25～29、30～34、35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、65～69、70～74、80～84の年齢階級で高く、4mm以上6mm未満の歯周ポケットを持つ者の割合は20～24、35～39、40～44、45～49、60～64、80～84の年齢階級で高く、6mm以上の歯周ポケットを持つ者の割合は35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、65～69、70～74の年齢階級で高かった（表5）。

表5. 歯周ポケットを有する者の割合、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		歯周ポケット（4mm以上）のある者								
			総数			割合（%）					
						（再掲） 4mm以上 6mm未満			（再掲） 6mm以上		
診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	
総数	5729	1947	65.3	48.6	*	43.4	35.2	*	21.9	13.4	*
20～24	309	52	39.2	21.2	*	33.7	19.2	*	5.5	1.9	
25～29	361	38	50.7	31.6	*	42.4	28.9		8.3	2.6	
30～34	328	75	53.4	33.3	*	41.5	29.3		11.9	4.0	
35～39	425	83	61.9	33.7	*	49.6	31.3	*	12.2	2.4	*
40～44	342	116	64.0	35.3	*	47.7	31.0	*	16.4	4.3	*
45～49	493	145	67.5	43.4	*	46.9	36.6	*	20.7	6.9	*
50～54	470	155	68.7	43.9	*	45.5	37.4		23.2	6.5	*
55～59	439	137	74.0	49.6	*	42.6	38.7		31.4	10.9	*
60～64	432	177	69.0	45.8	*	42.8	30.5	*	26.2	15.3	*
65～69	469	220	72.3	55.9	*	43.9	42.3		28.4	13.6	*
70～74	519	305	69.9	56.4	*	43.4	39.0		26.6	17.4	*
75～79	447	258	66.7	60.5		38.7	38.0		28.0	22.5	
80～84	695	182	71.8	52.7	*	42.9	28.0	*	28.9	24.7	

* p<0.05

6. 歯や口の状態

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、歯や口の状態について気になるところがあると回答した者の割合は20～24、30～34、35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、65～69、70～74、75～79、80～84の年齢階級で高かった。歯の症状で、「痛い」と回答した者の割合は35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、75～79、80～84の年齢階級で高く、「冷たいものや熱いものがしみる」と回答した者の割合は35～39、40～44、55～59、65～69、70～74、75～79の年齢階級で高かった（表6）。

歯ぐきの症状で、「痛い」と回答した者の割合は40～44、45～49、50～54、65～69の年齢階級で高く、「腫れている」と回答した者の割合は40～44、55～59、80～84の年齢階級で高く、「歯をみがくと血が出る」と回答した者の割合は35～39、50～54、65～69、70～74、80～84の年齢階級で高かった（表7）。

表6. 歯や口の状態（歯の症状）、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		歯や口の状態について気になること (%)											
			ない			ある ^{注1}								
						総数 ^{注2}			歯の症状					
									歯が痛い			冷たいものや 熱いものがしみる		
診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	
総数	5734	2235	40.8	55.9	*	59.2	44.1	*	9.9	3.7	*	15.9	9.9	*
20～24	306	63	44.4	66.7	*	55.6	33.3	*	11.8	4.8		21.6	20.6	
25～29	362	45	39.2	46.7	*	60.8	53.3	*	11.9	2.2		21.8	28.9	
30～34	326	95	38.0	57.9	*	62.0	42.1	*	13.8	8.4		19.3	14.7	
35～39	422	114	42.9	67.5	*	57.1	32.5	*	10.7	1.8	*	20.4	11.4	*
40～44	341	139	35.5	54.0	*	64.5	46.0	*	11.4	2.2	*	25.2	10.8	*
45～49	495	174	36.0	53.4	*	64.0	46.6	*	12.1	2.9	*	21.0	16.7	
50～54	469	188	36.9	56.9	*	63.1	43.1	*	8.1	3.2	*	18.1	16.0	
55～59	438	163	34.0	55.2	*	66.0	44.8	*	11.0	2.5	*	20.5	12.3	*
60～64	432	197	39.4	49.2	*	60.6	50.8	*	8.8	3.6	*	13.4	10.7	
65～69	474	243	43.0	53.1	*	57.0	46.9	*	6.3	3.3		13.3	7.8	*
70～74	522	334	47.5	57.8	*	52.5	42.2	*	7.3	4.5		9.6	5.1	*
75～79	450	278	43.6	53.6	*	56.4	46.4	*	9.1	4.7	*	9.8	4.7	*
80～84	697	202	45.6	59.9	*	54.4	40.1	*	9.9	3.5	*	5.2	2.5	

注1) 複数回答可 注2) いずれか1つでもある者 * p<0.05

表7. 歯や口の状態（歯ぐきの症状）、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		歯や口の状態について気になること (%)											
			ある ^{注1}											
			歯ぐきの症状						歯をみがくと 血が出る					
			歯ぐきが 痛い			歯ぐきが 腫れている								
診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value				
総数	5734	2235	5.4	2.8	*	8.8	4.7	*	12.7	7.9	*			
20～24	306	63	2.3	1.6		4.2	1.6		9.8	3.2				
25～29	362	45	5.0	-		7.5	-		13.5	15.6				
30～34	326	95	4.6	2.1		8.0	2.1		12.6	15.8				
35～39	422	114	2.6	1.8		6.2	2.6		14.7	7.0	*			
40～44	341	139	4.4	0.7	*	10.3	0.7	*	14.1	9.4				
45～49	495	174	5.1	1.1	*	10.7	6.3		16.0	10.3				
50～54	469	188	4.5	0.5	*	9.8	5.9		17.5	10.1	*			
55～59	438	163	5.9	2.5		11.0	5.5	*	16.9	12.9				
60～64	432	197	4.2	4.6		10.6	7.6		11.8	8.1				
65～69	474	243	5.9	2.5	*	10.3	6.2		13.5	7.8	*			
70～74	522	334	5.0	3.3		8.6	6.9		10.5	5.4	*			
75～79	450	278	7.8	4.7		7.8	4.3		8.7	5.4				
80～84	697	202	8.9	5.0		8.3	1.5	*	7.9	2.5	*			

注1) 複数回答可 * p<0.05

口の機能で、「噛めないものがある」と回答した者の割合は45～49、55～59の年齢階級で高く、「口がかわく」と回答した者の割合は、20～24の年齢階級で低く、50～54の年齢階級で高かった（表8）。

「口臭がある」と回答した者の割合は35～39、70～74の年齢階級で高かった（表9）。

表8. 歯や口の状態（口の機能）、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		歯や口の状態について気になること (%)								
			ある ^{注1}								
			口の機能								
			噛めないもの がある			飲み込みにくい			口がかわく		
診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	
総数	5734	2235	9.3	8.0		1.2	1.4		6.6	6.5	
20～24	306	63	1.6	1.6		0.3	-		1.6	6.3	*
25～29	362	45	0.8	-		0.3	-		4.1	8.9	
30～34	326	95	3.1	3.2		0.6	-		4.0	3.2	
35～39	422	114	1.4	-		0.9	-		4.0	3.5	
40～44	341	139	2.6	2.2		-	0.7		4.4	5.8	
45～49	495	174	6.3	2.3	*	1.2	1.1		4.8	3.4	
50～54	469	188	6.8	4.3		1.1	-		7.2	2.7	*
55～59	438	163	9.6	2.5	*	0.7	-		5.5	4.9	
60～64	432	197	12.3	7.6		0.7	2.5		6.7	6.1	
65～69	474	243	15.8	11.1		1.1	1.2		7.4	7.0	
70～74	522	334	13.8	12.3		1.1	2.7		8.4	7.8	
75～79	450	278	18.2	17.3		3.3	2.5		7.8	10.1	
80～84	697	202	16.2	12.4		2.2	2.5		12.6	10.4	

注1) 複数回答可

* p<0.05

表9. 歯や口の状態（その他）、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		歯や口の状態について気になること (%)						
			ある ^{注1}						
			その他						
			口臭がある			その他			
診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value		
総数	5734	2235	9.0	6.9	*	13.0	16.3	*	
20～24	306	63	4.9	3.2		17.3	9.5		
25～29	362	45	7.7	8.9		16.6	20.0		
30～34	326	95	8.0	8.4		14.1	10.5		
35～39	422	114	10.0	3.5	*	10.9	13.2		
40～44	341	139	9.1	7.2		14.7	21.6		
45～49	495	174	10.1	9.8		16.6	13.2		
50～54	469	188	13.0	9.6		13.4	15.4		
55～59	438	163	11.6	7.4		12.6	15.3		
60～64	432	197	9.0	7.6		16.4	22.8		
65～69	474	243	10.3	9.1		11.4	19.8	*	
70～74	522	334	11.9	6.3	*	8.4	15.0	*	
75～79	450	278	7.3	6.8		10.0	15.1	*	
80～84	697	202	4.0	1.5		10.6	15.8	*	

注1) 複数回答可

* p<0.05

7. 歯や口の清掃状況

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯の間を清掃している者の割合は、男性で20～24、65～69、70～74、80～84の年齢階級で高く、女性で25～29、30～34、65～69、70～74、80～84の年齢階級で高かった。舌を清掃している者の割合は、女性で65～69の年齢階級で低かった。歯ブラシを用いた歯みがきに加えて歯や口の清掃を行っていない者の割合は、男性で65～69、70～74の年齢階級で低く、女性で25～29、30～34の年齢階級で低かった（表10）。

表10. 歯や口の清掃状況、性・年齢階級別

性別	年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		歯ブラシを用いた歯みがきに加えて歯や口の清掃を行っているか (%)											
				総数 ^{注2}			行っている ^{注1}						行っていない		
							デンタルフロスや 歯間ブラシを使っ て、歯と歯の間を 清掃している			舌を清掃している					
診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value		
男	総数	2362	997	58.7	51.6	*	49.6	43.2	*	19.6	18.7		41.3	48.4	*
	20～24	104	29	53.8	37.9		41.3	17.2	*	26.9	24.1		46.2	62.1	
	25～29	150	17	51.3	76.5		78.0	58.8		26.7	41.2		48.7	23.5	
	30～34	134	47	59.7	46.8		47.8	31.9		26.1	25.5		40.3	53.2	
	35～39	162	49	53.7	49.0		44.4	40.8		19.8	22.4		46.3	51.0	
	40～44	139	58	60.4	56.9		51.1	44.8		23.7	20.7		39.6	43.1	
	45～49	200	77	59.5	57.1		49.5	51.9		17.5	15.6		40.5	42.9	
	50～54	190	81	61.6	59.3		51.6	49.4		17.4	17.3		38.4	40.7	
	55～59	185	64	57.3	53.1		45.9	48.4		17.8	10.9		42.7	46.9	
	60～64	186	94	54.8	46.8		48.4	41.5		14.0	21.3		45.2	53.2	
	65～69	204	109	64.2	48.6	*	57.4	45.0	*	17.2	11.0		35.8	51.4	*
	70～74	218	147	64.7	52.4	*	56.9	43.5	*	21.1	17.7		35.3	47.6	*
75～79	205	133	55.6	48.9		50.2	42.1		15.6	18.8		44.4	51.1		
80～84	285	92	60.4	50.0		53.0	39.1	*	19.3	22.8		39.6	50.0		
女	総数	3322	1230	76.8	72.0	*	69.9	64.1	*	25.9	26.3		23.2	28.0	*
	20～24	200	34	59.0	67.6		42.0	47.1		32.0	38.2		41.0	32.4	
	25～29	209	28	75.1	57.1	*	63.2	42.9	*	33.0	28.6		24.9	42.9	*
	30～34	192	48	76.6	62.5	*	67.2	47.9	*	31.8	25.0		23.4	37.5	*
	35～39	257	65	82.5	73.8		73.9	64.6		30.0	33.8		17.5	26.2	
	40～44	199	80	75.4	68.8		69.3	62.5		30.2	25.0		24.6	31.3	
	45～49	293	97	81.2	75.3		75.1	68.0		26.6	19.6		18.8	24.7	
	50～54	278	106	78.8	74.5		73.7	69.8		22.7	27.4		21.2	25.5	
	55～59	249	99	85.5	78.8		81.9	76.8		24.9	22.2		14.5	21.2	
	60～64	243	102	82.3	80.4		79.8	74.5		23.0	25.5		17.7	19.6	
	65～69	268	134	81.0	73.1		77.6	66.4	*	17.9	29.1	*	19.0	26.9	
	70～74	298	186	78.2	71.5		75.2	65.1	*	19.8	22.6		21.8	28.5	
75～79	237	146	74.3	74.0		67.1	63.7		26.2	28.8		25.7	26.0		
80～84	399	105	67.7	60.0		59.1	47.6	*	25.8	27.6		32.3	40.0		

注1) 複数回答可

注2) いずれか1つでもある者

* p<0.05

8. 歯科検診を受診している者の割合

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、「この1年間に歯科検診を受けましたか？」という質問に「受けた」と回答した者の割合は、全体で20～24、30～34、35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、65～69、70～74、75～79、80～84の年齢階級で高く、男性で20～24、30～34、35～39、40～44、45～49、50～54、60～64、65～69、70～74、75～79、80～84の年齢階級で高く、女性で30～34、45～49、50～54、60～64、70～74、75～79、80～84の年齢階級で高かった（表11）。

表11. 歯科検診を受診している者の割合、性・年齢階級別

年齢階級 (歳)	総計					男					女				
	被調査者数 (人)		受けた者 割合 (%)			被調査者数 (人)		受けた者 割合 (%)			被調査者数 (人)		受けた者 割合 (%)		
	診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5707	2229	71.4	55.7	*	2372	996	69.1	48.1	*	3335	1233	73.1	61.8	*
20～24	305	63	63.9	38.1	*	104	29	63.5	27.6	*	201	34	64.2	47.1	
25～29	362	45	62.7	68.9		151	17	60.3	64.7		211	28	64.5	71.4	
30～34	327	95	67.0	40.0	*	134	47	67.2	31.9	*	193	48	66.8	47.9	*
35～39	419	114	67.1	49.1	*	162	49	63.6	36.7	*	257	65	69.3	58.5	
40～44	337	138	62.9	48.6	*	139	58	60.4	39.7	*	198	80	64.6	55.0	
45～49	495	174	63.8	48.9	*	200	77	57.0	39.0	*	295	97	68.5	56.7	*
50～54	468	187	69.4	48.7	*	190	81	67.4	48.1	*	278	106	70.9	49.1	*
55～59	434	162	71.7	61.7	*	184	63	63.0	49.2		250	99	78.0	69.7	
60～64	431	195	74.9	55.4	*	189	94	70.4	44.7	*	242	101	78.5	65.3	*
65～69	472	243	79.2	64.6	*	204	109	78.9	53.2	*	268	134	79.5	73.9	
70～74	517	335	79.3	62.1	*	217	147	80.2	58.5	*	300	188	78.7	64.9	*
75～79	444	277	77.5	59.9	*	206	131	76.7	51.9	*	238	146	78.2	67.1	*
80～84	696	201	77.4	54.7	*	292	94	75.3	53.2	*	404	107	79.0	56.1	*

* p<0.05

9. 矯正歯科治療の経験の有無、性・年齢階級別（20歳以上85歳未満）

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、矯正歯科治療の経験がある者の割合は、男性で35～39の年齢階級で低かった。過去に受けたことがある者の割合は、男性で35～39、65～69の年齢階級で低かった（表12）。

表12. 矯正歯科治療の経験の有無、性・年齢階級別（20歳以上85歳未満）

性別	年齢階級 (歳)	人数(人)		割合(%)											
		被調査者数		ない			総数			ある					
		診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	(再掲) 現在受けている			(再掲) 過去に受けた ことがある		
診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value		
男	総数	2355	853	94.6	93.9		5.4	6.1		1.6	0.2	*	3.8	5.9	*
	20～24	104	23	88.5	82.6		11.5	17.4		4.8	-		6.7	17.4	
	25～29	150	14	90.7	100.0		9.3	-		4.0	-		5.3	-	
	30～34	133	33	84.2	78.8		15.8	21.2		2.3	3.0		13.5	18.2	
	35～39	160	34	93.8	79.4	*	6.3	20.6	*	1.9	-		4.4	20.6	*
	40～44	139	47	91.4	87.2		8.6	12.8		-	-		8.6	12.8	
	45～49	198	61	92.4	91.8		7.6	8.2		3.0	-		4.5	8.2	
	50～54	189	64	95.2	90.6		4.8	9.4		-	-		4.8	9.4	
	55～59	182	51	94.0	96.1		6.0	3.9		2.7	-		3.3	3.9	
	60～64	185	82	96.8	96.3		3.2	3.7		1.1	-		2.2	3.7	
	65～69	204	101	98.5	95.0		1.5	5.0		1.0	1.0		0.5	4.0	*
	70～74	219	136	96.8	97.1		3.2	2.9		0.5	-		2.7	2.9	
	75～79	204	121	98.5	97.5		1.5	2.5		0.5	-		1.0	2.5	
80～84	288	86	98.6	100.0		1.4	-		1.0	-		0.3	-		
女	総数	3301	1075	89.0	91.5	*	11.0	8.5	*	2.6	0.9	*	8.4	7.5	
	20～24	196	29	70.9	79.3		29.1	20.7		12.8	13.8		16.3	6.9	
	25～29	206	24	78.6	79.2		21.4	20.8		6.3	4.2		15.0	16.7	
	30～34	188	41	77.7	90.2		22.3	9.8		4.3	2.4		18.1	7.3	
	35～39	257	48	79.8	70.8		20.2	29.2		2.3	2.1		17.9	27.1	
	40～44	199	68	83.9	77.9		16.1	22.1		2.5	0.0		13.6	22.1	
	45～49	291	83	85.2	89.2		14.8	10.8		4.1	1.2		10.7	9.6	
	50～54	272	91	90.8	86.8		9.2	13.2		1.5	0.0		7.7	13.2	
	55～59	246	86	91.9	95.3		8.1	4.7		1.6	1.2		6.5	3.5	
	60～64	241	93	93.8	93.5		6.2	6.5		0.4	1.1		5.8	5.4	
	65～69	266	119	94.4	93.3		5.6	6.7		1.1	0.0		4.5	6.7	
	70～74	298	168	98.0	97.6		2.0	2.4		0.7	0.0		1.3	2.4	
	75～79	239	133	98.3	97.7		1.7	2.3		0.4	0.0		1.3	2.3	
80～84	402	92	98.0	98.9		2.0	1.1		0.7	0.0		1.2	1.1		

* p<0.05

D. 考察

歯科疾患実態調査と比較して歯科診療所調査で高かったものは、う歯のある者（処置完了の者を含む）の総数の割合、う歯の処置完了の者の割合、歯肉出血を有する者の割合、4mm以上の歯周ポケットを持つ者の割合、4mm以上6mm未満の歯周ポケットを持つ者の割合、6mm以上の歯周ポケットを持つ者の割合、歯や口の状態について気になるところがあると回答した者の割合、歯の症状で、「痛い」と回答した者の割合、「冷たいものや熱いものがしみる」と回答した者の割合、歯ぐきの症状で、「痛い」と回答した者の割合、「腫れている」と回答した者の割合、「歯をみがくと血が出る」と回答した者の割合、「口臭がある」と回答した者の割合、デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯の間を清掃している者の割合、歯科検診を受診している者の割合であった。

一方、歯科疾患実態調査と比較して歯科診療所調査で低かったものは、未処置のう歯を持つ者の割合、喪失歯所有者率、歯ブラシを用いた歯みがきに加えて歯や口の清掃を行っていない者であった。

歯科診療所調査と歯科疾患実態調査で同様の傾向を示したものは、口の機能で、「噛めないものがある」と回答した者の割合、「口がかわく」と回答した者の割合、舌を清掃している者の割合、矯正歯科治療の経験がある者の割合であった。

以上の結果から、パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止となった場合にも実施可能な調査手法として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法から、ある一定の精度で歯科疾患実態調査を補完するデータを取得できることが示唆された。今回の結果で示したような所見がみられた理由として、歯科診療所調査¹⁾の対象者（20歳以上84歳までの患者）における歯科医療機関の来院の主な目的は、「歯科治療」と回答した者の割合が52.7%、「定期健診」と回答した者の割合が45.8%、「歯科健康診査（自治体の健診等）」が1.5%であり、歯科治療のため医療受診している者、および定期的な口腔管理を受けている者が混在していることが挙げられる。歯科治療を受けている者では、歯や口の状態について自覚的な症状を有しており、歯科口腔内に治療を要する所見が多い可能性がある。また、定期的な口腔管理を受けている者では、良好な歯科口腔保健行動、および治療済の所見が多い可能性がある。そのため、歯科診療所のデータを利用する場合は、対象者が一般の生活者ではなく、歯科診療所を受診した（している）患者であるという特性を考慮する必要がある。また、市区町村が歯科医師会に委託している「歯周疾患検診」、あるいは都道府県が歯科医師会に委託している「県民歯科疾患実態調査」等のデータの活用も検討されるべきである。1人平均DMF歯数(DMFT指数)、1人平均現在歯数については、今後、令和4年歯科疾患実態調査の調査票情報を用いて比較を行う必要がある。

E. 結論

パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止となった場合にも実施可能な調査手法として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法から、ある一定の精度で歯科疾患実態調査を補完するデータを取得できることが示唆された。しかしながら、歯科診療所データを利用する場合は、対象者が一般の生活者ではなく、歯科診療所を受診した（している）患者であるという特性を考慮する必要がある。

F. 引用文献

- 1) 石塚洋一、福田英輝、田口円裕.

厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）我が国の歯科口腔保健の実態把握を継続的・安定的に実施する手法の開発のための調査研究
令和4年度 分担報告書.

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/161692> (2024年4月15日アクセス)

- 2) 政府統計の総合窓口. 令和4年歯科疾患実態調査. 2023.

[https://www.e-stat.go.jp/stat-](https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450131&tstat=000001211640&cycle=0&tclasslval=0)

[search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450131&tstat=000001211640&cycle=0&tclasslval=0](https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450131&tstat=000001211640&cycle=0&tclasslval=0) (2024年4月15日アクセス)

G. 研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし